

「活用」の力を育てる評価の工夫

本時では、身の回りの物を見積もり、実際にものさしを使って測ることにより、長さの量感を豊かにするとともに、長さを測定する技能の定着を図っている。

また、cmとmmの目盛りの両方付いた「べんりなものさし」（教科書の巻末資料）を活用する。この算数的な活動を通して、cmとmmの単位の関係について、理解をより確かなものにも目指している。

さらに、授業の後半では、一人一人が調べた身の回りの物の長さを発表する。ただ発表するだけでは、相手に分かりやすく自分の言いたいことを伝えようしたり、話し手の話をしっかりと聞こうとしたりする必然性に欠ける。そこで、クイズ形式で、自分の調べた物の長さを聞き手に予想させ実際に測定させる活動を取り入れた。

クイズの出題の仕方について必要があれば、教師のデモンストレーションや話し方を書いたワークシートなどで支援したい。

「活用」の力を育てる評価の視点

この「長さしらべ」は、算数で学んだことを実際の生活に生かす活動の一つである。さらに、この活動を通して、「量感」を育てていくこともねらいとしている。また、調べたことの発表の場面では、話したり聞いたりする力の育成を図っている。

本時における評価のポイントを示すと次のようになる。

- ①身の回りの物の長さに関心を持ち、意欲的に調べようとしている。
- ②身の回りの物の長さをだいたい見積もることができる。
- ③ものさしで、身の回りの物の長さを正確に測ることができる。
- ④cmとmmの関係を具体的な活動を通して理解できる。
- ⑤相手に分かりやすく出題することができる。
- ⑥相手の話をしっかりと聞き、適切に受答えができる。

指導者から見た評価だけではなく、児童自身の学びを自己評価、相互評価する機会を設定することが大切である。

クイズの話し方

Q: よろしくおねがいします。

A: よろしくおねがいします。

Q: 1つめのもんだいです。

この〇〇〇〇のここ(ゆびをさす)は、どれくらいの長さだとおもいますか。

A: そこは、〇〇cmぐらいだとおもいます。

Q: ものさしで はかって、たしかめてください。

A: はい。〇cm〇mmでした。(かんそう)

Q: 「べんりものさし」で はかってみてください。

A: はい。〇mmでした。

Q: せいかいです。

・よそうと いっしょでしたね。

・よそうと だいたい おなじでしたね。

おいしい!

・おしかったですね

・もういちどちょうせんしてみましょう。

Q: 2つめのもんだいです。

・さいごのもんだいです。

A: (～やさしく～) してくれて、ありがとうございました。

Q: どういたしまして。

※解答者用のワークシートに記入させることにより、児童の振り返りや評価に活用できる。

板書例 長さしらべ

ものの 長さを よそうしたり、はかったりしてみよう。

めあて

長さを よそうしよう。
せいかくに はかろう。
しっかり はなそう。

長さクイズをしよう!

せいかくに ものさしで はかれたかな。

しっかり はなせたかな。

わかったこと やおもったことは?

よそうはできたかな。

長さ～はかってみよう～ 2年()

☆ 身のまわりの いろいろな ものの長さを はかってみましょう。

	しらべたもの	よそうした長さ	はかった 長さ		クイズにするもの	まるにするこたえ
			cm	mm		
1			cm	mm		
2			cm	mm		
3						
4						

HOME

本時の流れへ

評価問題

単元の流れへ